

## 令和2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	自治公民館事業	担当課	市民協働推進課	
総合計画	政策	みんなで築くまち	計画期間	平成4年度～
	施策	地域コミュニティの充実	種別	任意的事務
	基本事業	コミュニティ活動の活性化と環境づくり	市民協働	補助事業
予算科目コード	01-020702-08 単独	根拠法令・条例等	守谷市自治公民館建設補助に関する規則 守谷市空き家等活用コミュニティ推進事業助成金交付要綱 他	

## なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>平成4年に地域住民同士の交流及び地域づくりの推進のため、自治会・町内会等が管理運営する自治公民館の建設、修繕に係る費用を助成する事業として開始した。平成21年（令和2年9月助成金へ切替）には、地域住民同士の交流等に供する場として守谷市空き家等活用コミュニティ推進事業助成金が加わった。令和2年4月には、住民組織が身近で気軽に集まることのできる施設等の使用経費に対し、守谷市地域活動のための施設等使用料助成金も開始した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治公民館を持っている自治会・町内会等から、新改築・増築や修繕の申請を前年度の7月末までに提出していただき、内容を審査し翌年4月に補助金交付決定を行う。工事が完了した際に実績報告書を市に提出し、竣工検査を実施して補助金を交付する。補助率は補助対象事業費の1/2である。</li> <li>自治公民館を持たない自治会・町内会等が地域内の空き家等を借上げ、地域住民の交流の場を開設する事に対し、空き家等の借上げに要する経費である契約時に係る費用（敷金・礼金・不動産仲介手数料等）及び家賃（月額95,000円を限度）に0.95を乗じた額は市が負担し、それ以外の0.05を乗じた額及び維持管理・コミュニティサロンの開設に要する経費は申請団体が負担する。</li> <li>自治会・町内会等に対し、他地区の公民館や地区内の店舗などを地域活動で使用する場合に、使用料の一部を助成する。1回の使用につき、使用料に0.95を乗じて得た額（その額に100円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額）とし、1,900円を限度とする。一つの助成対象組織が一会計年度に申請できる助成金の額は、190,000円を限度とする。</li> </ul>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>地域住民のコミュニティの場となる自治公民館の新改築・増築や修繕に対し補助金を交付し、地域住民の自主的なコミュニティ活動を促進する。また、自治公民館を持たない自治会・町内会等に対しては、空き家や他地区の公民館、地区内の店舗等の活用により地域住民の交流の場を提供している。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>市民主体のコミュニティ活動を行いやすくする活動基盤を整える。</p>	

## 事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティ活動の拠点の支援として、自治公民館建設補助（建設費・修繕費の50%補助）、空き家等活用コミュニティ推進事業助成金（家賃月額95%助成）、地域活動のための施設等使用料助成金（使用料95%助成）の3つの制度を運用している。</li> <li>地域活動のための施設等使用料助成金は、助成上限額（1回につき1,900円）を設定しているが、1回の使用料が高額な施設等を借り上げる際は団体の自己負担額が大きくなってしまふ。</li> <li>新型コロナウイルスの影響で、コミュニティ活動が縮小傾向にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年上半年 制度活用状況の取りまとめ</li> <li>令和3年下半年 各団体の自己負担額の分析、（必要に応じて）要綱の改正</li> </ul>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて、地域活動のための施設等使用料助成金の助成上限額の再検討をする。</li> </ul>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 削減	<p>以下の2点から削減の方向性にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治公民館の修繕に要望額が例年より少ない。</li> <li>新型コロナウイルスの影響により、各団体が地域活動等を自粛する見込みのため、地域活動のための施設等使用料助成金の予算が減少する見込みである。</li> </ul>

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の取組（評価、課題への対応）
<p>・自治公民館建設補助事業は、自治会・町内会等からの申請に基づくものであるため、件数及び補助金に増減はあるが、申請に対して概ね補助ができています。</p> <p>・公平性を追求するため、空き家等活用コミュニティ推進事業を見直し、一部負担金のある助成金へ移行及び地域活動のための施設等使用料助成金を新設し、自治公民館を持たない団体が気軽に集まることのできる場所を次年度以降助成する。</p>	<p>・自治公民館建設補助事業は、8地区の自治公民館（原公民館他）の修繕に補助金を交付した。</p> <p>・空き家等活用コミュニティ推進事業は、令和2年8月までは旧制度で6団体に空き家等を提供した。令和2年9月以降、空き家等の賃料の一部負担を自治会・町内会等に求める空き家等活用コミュニティ推進事業助成金を構築し、5団体（けやき台二丁目町内会他）に交付した。</p> <p>・地域活動のための施設等使用料助成金は、令和2年4月から開始し、4団体（さつき台町内会他）に交付した。</p>

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
自治公民館建設補助事業の補助金の額（千円）	631.00	0.00	0.00	0.00	4,452.00	3,813.00	5,000.00
自治公民館建設補助事業の補助金の交付件数（件）	3.00	0.00	0.00	0.00	8.00	8.00	10.00
成果の動向（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	<p>自治公民館建設補助事業は、自治会・町内会等からの申請に基づくものであるために年度によりばらつきがあるが、令和元年度同件数であったため、成果は横ばいとする。</p> <p>空き家等活用コミュニティ推進事業助成金は、空き家所有者から売却の意向が示され返却したことから、1団体減少したため低下した。</p> <p>地域活動のための施設等使用料助成金は、令和2年4月から新たに開始し、4団体が利用したため向上した。</p>						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	<p>自治公民館建設補助事業は、各自治公民館の老朽化を考えると拡大傾向にある。</p> <p>空き家等活用コミュニティ推進事業及び地域活動のための施設等使用料助成金は、コロナ禍の令和2年度から開始したため、利用が大きくは伸びなかったが、感染症が落ち着き、コミュニティ活動が再開すれば、拡大傾向にある。</p>					

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	6,994	10,720	9,519	9,293	10,000
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	6,994	0	0	0	0
	一般財源	0	10,720	9,519	9,293	10,000
正職員人工数（時間数）		69.00	157.00	265.00	0.00	0.00
正職員人件費		288	644	1,073	0	0
トータルコスト		7,282	11,364	10,592	9,293	10,000

令和2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	”飛び込む・関わる・創る”守谷学生シェアハウス事業	担当課	企画課	
総合計画	政策	みんなで築くまち	計画期間	平成28年度～
	施策	地域コミュニティの充実	種別	任意の事務
	基本事業	コミュニティ活動の活性化と環境づくり	市民協働	その他
予算科目コード	01-020107-18 補助	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>高齢化が進む地域に学生を呼び込み、地域活動に参画することにより、地域コミュニティの活性化を図るため7事業として、平成28年度から地方創生推進交付金を活用して実施した。令和元年度からは、市単独事業として継続している。</p>	<p>高齢化が進んでいる地区（みずき野地区及び北守谷地区）に生じている空き家を市が借り上げ、守谷市外に住 ・いる学生を対象に地域活動や市事業への参加を条件として無償で住まわせる。 @学生、自治会・町内会やまちづくり協議会、市との連携により、地区が目指すまちづくりに向けた活動を行う B E地域活動のみならず、サタデー学習支援教室や中学校部活動補助なども想定し、子ども達との交流も深める。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>まちづくりに意欲的な学生を取り込み、地域活動等への参加を促進することにより、活力のある地域づくりにつなげるとともに、活動を通じて、地域への愛着を持ってもらい「第2のふるさと」として守谷市への将来的な住につなげることにより、人口減少対策への相乗効果も期待できる。また、守谷市出身ではない若者や、異世代と同じ地区で生活し、活動をともにすることにより、互いに新たな気</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>市民主体のコミュニティ活動を行いやすくする活動基盤を整える。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元度から北守谷地区にもエリアを拡大し実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動が中止・縮小となり、学生の参加できる活動が少なくなっている。</li> <li>学生によって活動への意識に差があり、活動時間に大きな差が生じている。</li> </ul>	<p>[～令和2年12月]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学生のスケジュールや意向を把握し、活動への取組方針を確認する</li> <li>活動に必要な補助を行い、促す</li> </ul> <p>[令和3年1月]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次年度に向けて、新規学生の募集</li> <li>既存学生の継続意向の確認</li> </ul> <p>[令和3年3月]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学生活動の発表</li> <li>学生の入れ替え</li> </ul>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>学生と連絡を頻繁に取り、活動への意識付けを行うとともに、興味のある分野を聞き取り関係者を紹介する。</li> </ul>	

次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域活動が消極的になってきたため事業の縮小を検討したが、地域から学生の継続を期待されていることから、現状維持の実施とする。</p>

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の取組（評価、課題への対応）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生間で活動に対する温度差が生じているため、活動が少ない学生に対して、どうやってモチベーションを上げさせるか検討が必要。</li> <li>・北守谷地区へ拡大したが、地域への周知が不足しているため、あまり活動へ参加できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域活動が中止・縮小となるなか、みずき野地区まちづくり協議会事業として商業施設跡の一部を利用しみずき野ひろばをオープンする計画あったため、改修作業を手伝った。</li> <li>・その後、シェアハウスに入居していないが、大学の友人（芸術関係の学生）に声をかけ小学生と一緒にみずき野ひろばの壁面に絵を描いた。</li> </ul>

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
当該地区に転入した学生（卒業生含む）の数（人）	8.00	9.00	9.00	8.00	12.00	14.00	18.00
町内会行事等における学生の活動時間（h）	0.00	0.00	0.00	0.00	1,102.00	1,988.00	2,160.00
成果の動向（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生数が増えてきたことで、活動の幅が広がり始めている。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で地域活動が減少した代わりに、学生発案の企画が増えてきたため、今後地域活動が再開し始めれば更なる飛躍が望めそうである。</li> </ul>						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により仕方ない部分はあるが、当該事業は地域の活性化を目的に開始したため、部活動指導や市事業への参加が増加傾向になっており、事業の方向性を検討する必要がある。</li> <li>・地域活動があまり見られないのであれば、規模の縮小等も考慮する。</li> </ul>					

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	4,382	5,004	5,177	6,219	6,279
	国・県支出金	1,704	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	2,678	4,802	3,527	6,219	6,279
	一般財源	0	202	1,650	0	0
正職員人工数（時間数）		603.00	602.00	863.00	0.00	0.00
正職員人件費		2,518	2,470	3,493	0	0
トータルコスト		6,900	7,474	8,670	6,219	6,279